

大いなる飛躍へ

 JA上川中央



水稻播種作業
愛別地区 星 秀隆さん

2010
NO.26

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel(01658)6-5311
編集・営農販売課

5

第2回

通常総会開催



【議長団】
上川地区 青本光晴氏、愛別地区 岡田 仁氏



《質問》上川地区
阪本展男氏



《質問》愛別地区
二門良吉氏



《質問》愛別地区
藤原幸子氏



《質問》愛別地区
土屋陽一氏



《質問》上川地区
渡辺直喜氏

4月3日午前9時30分より愛別町農村環境改善センターにおいて、上川中央農業協同組合第2回通常総会が多くの組合員と両町長を始めとする来賓の出席のもと開催されました。

開催にあたり、新井組合長より農業情勢更に事業の取り組み等の開会の挨拶があり、引き続き愛別町矢部町長・JA北海道中央会旭川支所小幡支所長より来賓挨拶をいただきました。

議案審議にあたり、愛別地区岡田仁氏・上川地区青木光晴氏が議長団に選任され、事務局より議案7件と報告3件の説明、更に監事の監査報告が行われました。組合員より事業実績報告並びに事業計画に対し、貴重な意見・慎重な審議を頂き議事を進め提出議案7件全て原案通り承認され、12時35分に閉会致しました。

農繁期の大変お忙しい中、多くの組合員の出席を頂き無事総会を終了させていただきました。本総会においていただいた意見を今後の事業運営に反映し、組合員皆様の期待に応えるJAづくりを役員一丸となり邁進して参りますので、尚一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



出席者全員でJA綱領朗唱



多羽田代表監事による
監査報告



各議案について満場一致で承認を得る事ができました

組合長挨拶

第2回上川中央農業協同組合通常総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、天候不順により雪解けが遅れ、ご多忙な中を本日の総会案内に際し、多くの出席を賜り総会が開催出来ましたことを心から御礼を申し上げますところであります。

又、来賓の上川町長、愛別町長をはじめとする行政機関の皆様、さらには中央会支所長をはじめとする系統連合会関係者の皆様方のご出席を賜わっておりますことにお礼を申し上げますところであります。

さて、昨年の作況につきましては、融雪時期を順調に推移し播種・育苗の経過からみて豊作を期待したところでありますが、夏場の冷湿害等により量・質ともに低下し、組合員にとって厳しい経済情勢の一年となりました。被害を受けられた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

農業、JAを取り巻く環境は資材の高騰を始め、依然として厳しい

情勢が続いております。

昨年8月30日の衆議院選挙において政権交代が行われ、農政の大きな転換期を向かえ、私も一人一人から見れば政治が変わることにより、生活基盤が大きく変わることが、国民の食料の軸にとって良いことではないと思えます。生産している我々の生産基盤をしっかりとし、更には地域の経済基盤がしっかりとります。このことが一番大事な事と受け止め、今後、JAの組織として、組合員と共に歩む組織体更に一層の努力をしなければいけない、そのような思いに至っているところであります。

昨年の事業実績であります、総販売取扱額につきましては62億1千万円、購買事業の取扱額については31億3千万円、貯金総額につきましては165億円となり、組合員各位の絶大なるご協力の賜物と心よりお礼を申し上げます。

結果、事業収支といたしましては、昨年お約束を致しておりました肥料高騰対策に1千万円の必要対策を実施し、経常利益としては、

約6千万円と特別損益4千8百万円を加え、1億8百万円の事業収支実績となりました。

しかし、この中には約4千6百万円の貸倒引当金戻入による利益が含まれていることから、剰余金の処分については税引き後利益8千540万円の内2千万円の事業分量配当と、その他については内部留保ということで、本日ご提案をさせていただきます。

さて22年度の事業計画策定にあたっては合併3年目を向かえ、更なる地域農業・JA経営の健全化が求められており、クミカンの利息については0.3%の引き下げと、更には地域内に於いて個々の生産額に相当な開きがあることから、販売手数料の額においての上限設定を考へる方に基づいた事業計画とさせて頂いているところであります。

販売の一部に於いて買取手法も視野にいれ、組合員皆様の負託に応える事業推進計画とさせて頂いているところであります。

収支計画に於いてはJAの固定資産の減損会計が求められており、この適用年次については21年度にグループピングを行い、その減損兆

候があった場合には、計上しなければいけないということでありましたが、合併2年度の中で固定資産のグループピング、更にはその減損兆候の判定を22年度計画において実施するという事で先送りさせて頂き、22年度事業計画の中に見込額約5千8百万円を計上する事で計画を立てさせて頂きました。

この処理については、単年度収支では困難な事から、21年度に特別積立を4千70万円繰入れを行いたいと考えているところであります。

このような経済・社会情勢に対応するため、農業振興・経営の健全化を目指す、中期3カ年計画を樹立し、部門収支の改善、農業振興の更なる一層の振興策により、組合員の生活の充実とJAの健全化に向けた、取り組みを基本とする3カ年計画のご提案を申し上げます。

本年も皆さんの農作業が無事故で、豊穣の出来秋を向かえられる事を心よりご祈念申し上げます、本日常総会開会にあたってのご挨拶と致します。

農協懇談会 主要意見報告



【総務・管理】

Q 北海道庁と民間企業との人材交流事業について説明を願いたい。

A 人材交流事業によるJAより派遣する職員については次代を担う中堅幹部職員として職員を派遣し、長期的視野に立った企

画力、組合員対応能力の向上などを目的に職員教育を行いたい。また、道より派遣される職員には教育的立場と総合的な農業振興や事業経営に関わってもらい行政対応の調整役としても期待している。

Q 固定資産取得計画に牛舎5千万円とあるがその内容について説明願いたい。

A 上川地区の法人で生産拡大を図ることを目的に施設整備を計画しているものを農協がリース物件として取得し、それを転貸リースとして資産取得を計画しているが、経営計画に基づくリース資産として取得いただき、受益者の負担責任を持つことが基本条件となる。

Q 役員選任について地区選任制を廃止し、選挙制による役員選任を望む。

A 役員選任についてはその方向性について十分な協議が必要で

あり検討したい。

Q 総会、懇談会に出席しても形式的な内容ばかりで農協は農業者、農家組合員をどのようにしていきたいのか方向性が感じられない。農協と組合員の関わりが希薄になってきているので、そういう事を協議出来る懇談会なり報告会なり主役の見える会議体としての場がほしい。

A 現状を見たとき、組合員とJAとの接点が少なくなっており、関係が希薄化になっていくことは事実とっております。今後組合員と密接な関係を保つような環境整備の検討をしたい。

Q 北海道信連に対する外部出資は21年度1億5千127万円、22年度1億3千794万円と大きな出資額となっている。この事業は理事会議決とのことだが、経営状況の悪化した経済団体に出資をすべきなのか、経営者の責任はないのか。この外部出資の議決の在り方を理事会等で検討願いたい。

A 定款の定めにより理事会決議となっており。規程に沿っ

た議決をしており理解を戴きたい。又、要望意見として承ります。

【金融】

Q 貸付金に含まれるリスク管理債権について、その延滞債権の中身はどうなっているのか。また、昨年と比較して延滞債権が1億2千4百万円減少しているが内容はどうか。

A 延滞債権については、ここに記載の内容の通り未収利息計上に相当する貸出金であり、昨年との差異は経営改善の向上により分類債権の対象金額が減少した。また、貸出条件緩和債権は協調融資による債権であり延滞債権とは異なる。

【営業・販売】

Q 業務体制の検討課題と今年の事業方針として販売部門の強化、営業指導強化及び販売専任者の設置とあるが具体的な内容について説明願いたい。

A 行政庁の指導事項として員外規制の強化、内部監査体制の確

立、信用担当理事の信用専任担当とすること等の規制強化がなされたことからそれらに対応する体制整備と合わせて今後の事業推進における企画構成の出来る販売専任担当が必要と考えている。作物専任ではなくグループ制による専任担当を設けたい。

基本としているが生産者の販売会社独自の販売に対しては販売手数料ではなく経理委託料として調整するかの継続的な協議を図っているがまだまだ課題整理の必要性がある。

Q 今年の取扱計画できゅうりの生産を伸ばす計画であるが今後の苗の供給体制についてどのようになっているのか。

Q J G A Pとはどういうものか。また、これらに係る営農支援の具体的な内容は。

A 苗の供給については組織を含めて検討していきたい。また、今後の生産作物としては差別化商品として米ナスの生産振興を図っていききたい。

Q 3カ年計画の中で上川町は活性化プランにより地域を網羅したプラン作りをしているが上川・愛別両地区においてそれぞれ地域特性がありそれら地域農業者の地域性を踏まえた取組みの実現を図る必要がある。

Q 販売手数料について本年度実績、計画が載っているが特にきこの手数料について販売手数料率は2.2%とされているが販売額に対して手数料額が少なく正規手数料率より低いのではないのか。このような状況では不公平感がありJ A 離れを起こしかねない。これらの内容については是正を望む。

A J G A Pは生産工程管理を行う適正な管理に基づいた安全をルール化したもので認証制度をもって取り組むこととなる。J A の支援内容としては指導機関による講習会の開催、農場認証、団体認証等を取得するための支援を行うこととなる。

A きこの手数料について2.2%を

A 両地区の組合員の取り組み方J A 組織との関わりに相違がある。上川地区は生産部会による取組みで決定権を持っているが

愛別地区は協議会組織で決定権を持たない組織となっている。今後、改善、改革に向けた取組みを実現したい。

【購買経済】

Q 部門別損益計算書において生活部門が大きな赤字となったが、3カ年計画での收支改善策について説明願いたい。また、地域のAコープとして特に老齢世帯では生活の拠点となっており経営継続の努力をしてほしい。

A 昨年J A のホームページを立ち上げ、どの程度のアクセスがあるのか把握は出来ていないが地元の農畜産物を町外に発信する手段として捉えている。Aコープ、販売両事業の活性化を支える重要なコンセプトと考えている。

A 今年度は、管理配分等の変更により対前年1千万円の赤字圧縮となった。今後においては、このたび策定した経営改善計画に基づき人員配置の見直し等を図り、收支改善に努める。

改善計画の内容は、固定費、変動費を含め改善を図ることとし、22年度 マイナス3千万円、23年度 マイナス2千万円、24年度 マイナス1千5百万円まで赤字圧縮の計画を策定。事業管理費配分のウエイトが高く人件費の抑制が必要となる。

Q 「朝もぎ」については良い取



春の農作業



馬鈴薯浴光作業
上川地区 馬鈴薯生産組合



ハウス栽培アスパラ管理作業
上川地区 豊原生産組合



ハウス内肥料散布
愛別地区 高井 玲司さん



水稻播種作業
上川地区 辰巳 眞さん

●●●● 上川支所施設稼働 ●●●●



スイートコーン播種作業
上川支所 育苗施設



アスパラ選果作業
上川支所 選果施設

新委員長に藤本氏を選出 第49回上川町農連代議員会

上川町農民連盟は3月19日、第49回代議員会をJA上川中央上川支所で開き、平成21年度活動報告と平成22年度活動方針を採択した。14団体の執行委員、各農事組合の代議員ら約30名が出席した。

役員改選で新たな委員長に藤本博氏（東雲）を選出した。開会で北原守委員長は「民主党による新政権誕生で期待する半面、不安視する声も多い。関係機関と連携し中央への要請を強めていきたい」と述べた。

総会スロークンでは、「真の農政改革」の実現、農畜産物の関税撤廃の阻止、食料自給率向上運動の強化の3項目を確認した。

委員長以外の役員は次のとおり。

副委員長 青木光晴（再・菊水） 佐藤 績（再・東雲）
書記 長 阪本紳一（新・旭ヶ丘）
書 記 楠本信彦（再・栄町）



閉会にあたり北原執行委員長より挨拶

愛別町農民連盟 第43回定期総会

愛別町農民連盟（執行委員長 大野 芳彦）の第43回定期総会が3月24日、本所大会議室にて開催されました。

総会は、開会宣言に続いて全員で農民連盟綱領を朗唱し、大野委員長の開会挨拶のあと、来賓の大山愛別町産業振興課長、安友全上川農民連盟書記長よりご祝辞をいただき、議長に豊里地区の田中精一氏を選出し、平成21年度運動経過・収支決算並びに平成22年度運動方針・収支予算、賦課金徴収基準など議案3件が審議され、議長の円滑な議事進行で原案通り承認されました。

最後に出席者全員の力強い発声で「ガンバロ」を唱和し、盛会のうちに閉会しました。



大野執行委員長による開会挨拶

北海道農業協同組合 功労賞受賞祝賀会

4月3日愛別町蔵らにおいて、永年に亘り農業協同組合の発展に寄与された功績が認められ「北海道農業協同組合功労者表彰」を受賞された、新井光雄代表理事組合長の受賞祝賀会が行われました。祝賀会は、野間井和義発起人代表により行われ関係者37名が出席され受賞をお祝いしました。



祝賀会の模様

良品質栽培を目指して 種籾温湯消毒開始

今年度も種籾の温湯消毒を愛別地区3月31日、上川地区4月2日より開始いたしました。
この温湯消毒は、農薬を使用しないクリーン農業の展開により「安心・安全・美味しい」良質米栽培を目指し取り組んでいるもので、両地区合わせ約28トンの種籾を消毒いたしました。



上川地区
種籾温湯消毒



愛別地区
種籾温湯消毒



消毒された種籾

平成22年産

「ゆめぴりか」栽培講習会

本年度、「ゆめぴりか」の全道作付面積は、昨年の冷害の影響から種子量が十分に確保されず、予定されていた6,000haを1,000haも下回る5,000ha程度の見込となっております。今年度当JAにおいても約30haの作付が予定されており、作付生産者数も昨年に比べ5人増の21名となっております。平成23年産に向かつては、全道で10,000haへの作付拡大が図られる予定となっております。

昨年の生産実績を踏まえて、4月14日に本所大会議室において、「ゆめぴりか」の栽培講習会が開催されました。

講習会は、上川農業改良普及センターの白井専門普及員を講師に招き、各生育期間別の品種特性並びに、昨年の冷害を踏まえた水管理等の注意点について詳しく説明があり、出席された生産者の方々は真剣な表情で説明に耳を傾けられていました。



4月14日 本所大会議室にて開催

栗山町老舗まつり

きのご連合会（中田栄一会長）による平成21年度事業がスタートしました。

4月10日・11日の2日間栗山町で開催された栗山老舗まつりできのご汁・きのごきのご加工品等の試食販売をしました。当日は、天候に恵まれとても暖かい一日となり、例年以上に集客数は多く賑わいのあるイベントとなりました。

今年度も札幌を中心に道内各地で料理教室を含め昨年以上にきのごのキャンペーン・PR活動を予定しています。市場調査については5月中旬より実施する予定です。



たくさんの人で賑わう会場

平成22年度 営農生産施設利用料金

消費税別途

区分	利用種目	単位	平成21年度 利用料金	平成22年度 利用料金	備 考
精米	玄米	60kg	650	650	色選無し
精米	玄米	30kg	430	430	〃
色選精米	玄米	60kg	700	700	色選有り
色選精米	玄米	30kg	480	480	〃
米粉（製粉）		1kg	120	120	
色選施設	玄米仕上げ	60kg	420	420	
混米調整	原料状況により都度協議の上、決定する				

消費税別途

区分	利用種目	単位	平成21年度 利用料金	平成22年度 利用料金	備 考
米	バラ化利用料	1俵	50	50	
	入庫料	1俵	45	45	
	出庫料	1俵	45	45	
	保管料	1俵	240	240	
野菜	共選料	1kg	23	23	きゅうり
	共選料	1束	25	25	アスパラ
大根・馬鈴薯については経費実費に職員出役分事業管理費を負担					
きのこ	共選料	100g	13.5	13.5	椎茸
	利用料	100g	0.49	0.49	きのこ集出荷施設利用料

平成22年度転作作業機械利用料金

消費税別途

機 械 名	台 数	単 位	平成21年度 利用料金	平成22年度 利用料金	備 考
クローラートラクタ	1台	1時間	6,000	6,000	オペレータ付(燃料農協負担)
クローラートラクタ	1台	1時間	4,800	4,800	オペレータ無(燃料農協負担)
グレンドリル	7台	10 a	600	600	
グレンドリル（初冬播）	1台				
プランター	6台	10 a	600	600	
ブームスプレヤー	1台	10 a	600	600	
ライムソウ	1台	10 a	600	600	
土篩機	1台	10 a	50	50	
融雪剤散布機	12台	10 a	300	300	
ラジコンボート	2台	10 a	300	300	オペレータ無(燃料農協負担)
ラジコンボート		10 a	350	350	オペレータ付(燃料農協負担)
マニュアルスプレッダ	2台	10 a	600	600	オペレータ無(燃料利用者負担)
マニュアルスプレッダ		10 a	900	900	オペレータ付(燃料利用者負担)
転作管理作業車	3台	10 a	600	600	オペレータ無(燃料利用者負担)
転作管理作業車		10 a	900	900	オペレータ付(燃料利用者負担)
汎用コンバイン（水稻）	2台	10 a	6,000	6,000	オペレータ付(燃料農協負担) (機械移動料は別途)
汎用コンバイン（小麦）		10 a	5,500	5,500	
汎用コンバイン（大豆）		10 a	5,500	5,500	
汎用コンバイン（ソバ）		10 a	5,000	5,000	

平成22年度加工料金

消費税別途

品 名	加工区分	単 位	平成21年度 利用料金	単 位	平成22年度 利用料金	摘 要
味噌加工	加工原料に対し	kg	55	kg	55	
ジュース類	加工製品に対し	リットル/本	65	リットル/本	65	

平成22年度共同利用施設利用料

消費税別途

品目・項目	料 金 ・ 料 率		摘 要
共同利用施設	農業機械施設	施設償却費＋資産1%＋内部金利	上川地区(平成21年度と同)
	堆肥場	施設償却費＋資産1%＋内部金利	上川地区(平成21年度と同)
	糞尿処理施設	施設償却費＋資産1%＋内部金利	上川地区(平成21年度と同)
	舞茸センター	施設償却費＋借入金利息＋管理費	愛別地区(平成21年度と同)

農畜産物の料金・料率表

【販売手数料】

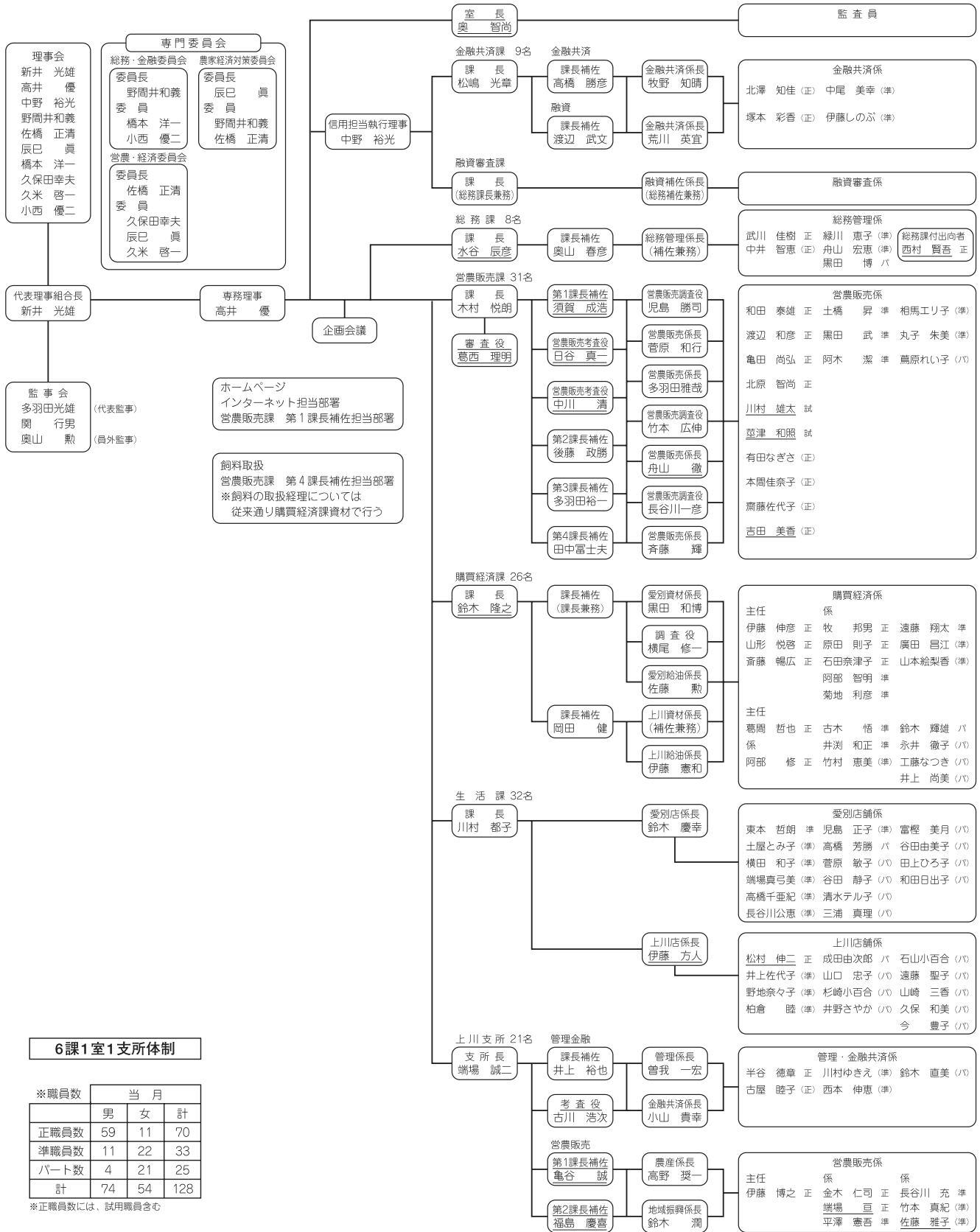
種 別		料金・料率	備 考	
農 産 物	米穀	主食用米	320円/俵	
		加工用米		
		特定米穀	3.0%	
		新規需要米	200円/俵	飼料用米・米粉用米
	麦類		200円/俵	
	豆類	大豆	北海道協同計算による料率とする	
		その他豆類	3.0%	
	そば		3.0%	
	甜菜		350円/トン	
	飼料作物		1.3%	
青 果 物	全青果物	2.2%		
きの こ	全きのこ	2.2%		
畜 産 物	生乳		1.3%	
	乳肉牛	一般販売	1.8%	
		市場販売	2.0%	
	豚	肉豚・廃豚	1.8%	
		仔豚	2.0%	

※ 1 組合員から徴収する販売手数料の限度額を1,000万円（税込）とします。

※ 特殊販売生産物については、料率を別に設定する場合があります。

JA上川中央 業務機構図

(平成22年4月5日現在)





戸別所得補償モデル対策 スタート

加入申請書と作付面積確認依頼書の提出期限は
4月1日から6月30日 までです。
最寄の地域協議会等の窓口へ提出して下さい。



提出窓口・お問合せ先

書類等提出窓口



- 愛別町水田農業推進協議会
5月12日～14日（愛別町総合センター1階会議室）
- 上川町水田農業推進協議会
5月17日～21日（JA上川中央 支所会議室）

最寄の地域課 北海道農政事務所 地域第四課 旭川市宮前通4155番31 電話0166-76-1279

様式・記載例・各種パンフレット

戸別所得補償モデル対策で用いる様式・記載例及びパンフレットについては、下記の北海道農政事務所のホームページから利用できます。または、最寄のお問合せ先にご連絡下さい。

検索

北海道農政事務所 戸別所得補償 スタート

北海道農政事務所ホームページ ⇒ <戸別所得補償制度について>

<http://www.maff.go.jp/hokkaido/suishin/keieiantei/kobetu/kobetu.html>

農林水産省ホームページ ⇒ <戸別所得補償制度について>

http://www.maff.go.jp/j/seisaku/kobetu_hosyo/index.html

加入から交付までのスケジュール

4月～6月

- 農業者の方から
- 加入申請
- 作付面積確認依頼書

7月～9月

- 地域協議会等
- データ入力
- 作付確認

10月～3月

- 農業者の方へ
- 交付対象面積の通知
- 交付申請書の送付
- 農業者の方から
- 交付申請書の受け付け

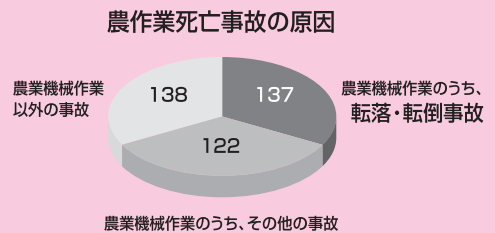


交付要件の確認が済んだものから支払事務手続きを開始します。

農業機械の**転落・転倒事故**にご注意下さい。



農作業死亡事故の1/3は、農業機械の転落・転倒が原因です。



H19農作業死亡事故調査より（農林水産省）



片ブレーキによる急旋回！

対策

作業終了後は圃場を出る前にブレーキ連結。



連結

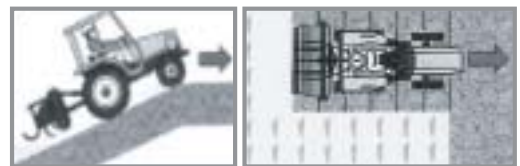
非連結



圃場退出時の前輪浮上！

対策

圃場退出は作業機を下げ、傾斜に対して直角に。



小型機械の転落・転倒！

対策

走行時の操作クラッチ操作は禁止。荷物を積んだらスピードダウン。



※掲載された事故の写真と事故事例に直接の関係はありません。

安全な農作業を心がけることが第一ですが、万が一の事故に備えて、「労災保険」に加入しましょう。一定の要件を満たしていれば自営農業者本人が加入できる「特別加入制度」も用意されています。

事故対策や労災保険の詳しい情報はこちらから。

農水省 農作業安全

検索

愛別町産酒造好適米『吟風』を50%まで
磨き上げ北の錦の伝統の技と新しい技術で
醸された純米吟醸酒を氷点下の真冬に瓶詰
し蔵元の石蔵で熟成貯蔵しています。

あいつつ地酒ふしこがよりおいしくなりました。
飲んだ方から絶賛の声が聞こえてきてます。
どうぞあなたも氷点下の真冬詰めした
新ふしこを飲んでみてはいかがでしょうか。

愛別産酒米 吟風使用

純米吟醸酒



1800ml **3,000円** 720ml **1,500円**

原 材 料 名	米・米麹
精 米 歩 合	50%
アルコール度数	16.5%
日 本 酒 度	やや辛口
お召し上がり方	冷やして
社 氏	南修司

お酒は二十歳になってから、妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響する恐れがあります。

小林酒造株式会社

〒069-1521 TEL (0123)72-1001
北海道夕張郡栗山町錦3丁目109番地
URL <http://www.kitanonishiki.com/>

JALレストラン Belle Air

**4月29日
オープン**

大雪山高原牛

ベレル

住 所 上川郡上川町字菊水(通称:旭ヶ丘)
JALレストランベレル TEL01658-2-4655
JA上川中央上川支所 TEL01658-2-1111

●上川町●

北海道のやや東寄り中央部に位置します。総面積は1,049km²あり、全国の市町村の中で8番目の広大さを誇ります。また、北方部は大雪山国立公園に重なっており、そうした地勢が有する育まれた資源を活かし、古くから観光、林業、そして農業が主産業となっています。

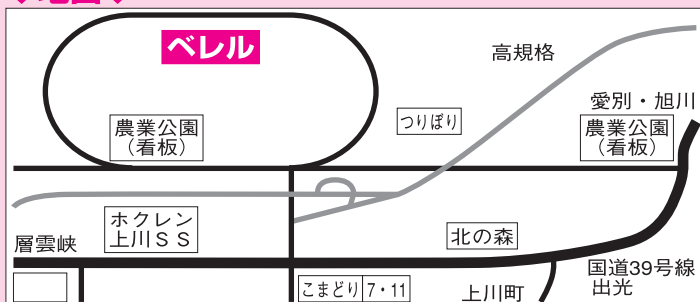


●レストラン●

上川町駅より約10kmの大雪山の麓に位置します。大自然の中で育まれた地場産品(牛肉・旬の野菜・ソフトクリーム)を中心に、営業しています。隠し味は、新鮮な“Belle Air(おいしい空気)”です



◆地図◆



大雪山高原牛3つのこだわり

- ・大雪山麓の自然の中で農薬を一切使用していない牧草を与えています。
- ・餌は非遺伝子組み換え飼料です。
- ・子牛からの町内一貫体制。

ちょっと豆知識

Belle Air = “おいしい空気”
「大雪山」=平成12年度に商標登録(第4424129)

理事会報告
第3回

報告事項

- 1、組合員の加入、出資譲渡並びに脱退の報告について
- 2、平成22年度地域別懇談会の報告について
- 3、職員的人事異動について
- 4、固定資産の取得について
- 5、米麦等の自主保管管理マニュアルの改正について
- 6、平成22年度クミカン資金供給限度額及び貸越極限度額の設定について
- 7、第2回農家経済対策委員会の報告について

議事

- 1、理事の報酬配分について
- 2、平成21年度業務報告書の行政庁の報告について
- 3、職制規程の改正について
- 4、給与規程の改正について
- 5、平成22年度余剰金の運用について
- 6、平成22年度貸付金利率の最高限度並びに信用供与額の限度額の設定について
- 7、理事に対するクミカン資金供給限度額及び貸越極限度額の設定について
- 8、平成22年度販売手数料及び生産施設等利用料の設定について
- 9、組合員の出資の減口について
- 10、外国人技能実習事業業務規程の制定について
- 11、対策組合員に係わる経過報告と今後の対応について

JAのあゆみ
4月

- 1日 平成22年産米栽培技術講習会 辞令交付
- 3日 第2回通常総会
- 5日 北海道農協同組合功労者表彰 祝賀会
- 6日 辞令交付
- 7日 米なす新規生産者付け打合せ
- 8日 農家経済対策委員会 企画会議
- 9日 中国研修生農業技能評価試験 第3回理事会
- 12日 第2回監事会
- 14日 小ねぎ部会打合せ
- 15日 上川地区年金友の会総会
- 19日 新規需要米説明会
- 21日 内部審査協議会監査
- 26日 コープ札幌産直交流会
- 27日 愛別地区年金友の会定期総会
- 29日 愛別町農業振興協議会総会 農協女性部愛別支部 役員会 ベレルオープン

組合員のうごき

(平成22年4月15日現在)

正組合員戸数	430戸
組合員数	2,623名
うち正組合員数	615名
うち正団体数	36団体
うち准組合員数	1,900名
うち准団体数	72団体

新採用

宜しくお願ひします。



上川支所 営農販売課 営農販売係
はば 端場 亘



本所 営農販売課 営農販売係
かわむら 川村 雄太



本所 営農販売課 営農販売係
くきつ 荻津 和照

営農販売課 和 田 泰 雄
営農販売係
(4月30日付)

お世話になりました

軽油・灯油用
ホームタンク
無料点検致します!

軽油・灯油用のホームタンクは、寒暖の差でタンク内に水滴がつき、年数が経過するにつれ腐蝕・サビ等のトラブルが発生しストップの故障原因にもなりますので、2〜3年に1回ホームタンクの清掃を行う事をおすすめ致します。

- ・受付期間 8月末まで
- ・点検内容 タンク内外部及び設置状況の点検(無料)
- ・洗浄申込 洗浄については、有料にて申し受け致します。
- ・洗浄料金 ホームタンク1基 5,000円(税別)

◎申込 部品等の交換については料金別途
ホクレン 愛別給油所 ☎6153336
ホクレン 上川給油所 ☎211459

Aコープ(愛別店・上川店)の
◆営業時間変更のお知らせ◆

5月1日より9月30日まで
下記の通り営業時間を
変更いたします。

平日・土曜日 9:00~18:00
祭日 9:00~17:30